



**MORIOKA**  
ROTARY CLUB WEEKLY

第34回例会(3月24日)  
平成29年4月7日発行

クラブ事務所 岩手県盛岡市菜園1丁目10  
川徳デパート内  
例 会 場 同上 TEL(651)1111(代)  
例 会 日 毎週金曜日12時30分～

会 長 駒木 進  
幹 事 海野 尚  
会 報 熊谷 隆司  
クラブ事務局 TEL(653)5682  
FAX(653)5622

ROTARY SERVING HUMANITY. '人類に奉仕するロータリー'..... ジョンF.ジャーム



ゲスト卓話

『仏の座のお話』

紫波町本誓寺 住職  
永井 隆 様

スピーカー紹介

紫波町 真宗大谷派 本誓寺 住職  
昭和32年1月生まれ 京都 大谷大学卒業  
大学卒業後、父親の前任職が寺院の教化及び監督責任者としてブラジルに赴任することになり、当寺の住職代行を務めていたが、4年後に前任職の急逝に伴い住職を継承、現在に至る。  
(本山関連要職)  
仙台教区 教区会議員  
東本願寺 教化教導 (平井 滋会員)

ご紹介を頂きました永井でございます。  
今日はハスの花をかたどって作られている蓮台、華座とか宗派によって呼び名があるかと思いますが、仏の座ということについてお話させていただきます。

皆様方には、ご縁のお寺様があるかと思えます。時節ごとに参詣したり、あるいは代々の年忌法要やご葬儀などのかたちで小さい頃よりお参りをしてこられたかと思えますし、祖父母につれられて来た記憶や亡き人のことを思い出す場所として手を合わせてこられたかと思えます。しかし仏様のお姿は見ていても足元にある台座をじっくり見るということとはめったにないことかと思えます。

ハスの花は昔から仏様の華として伝わってきました。泥の中より出でて、華は泥に汚されず清らかで綺麗な花を咲かせるとして尊ばれ、それが仏教において煩惱を滅して涅槃の境地を表すということの象徴とされてきました。そのことをかたどって仏様のお座りなられる座として荘厳されるようになってきました。

仏様によってその台座の形式が定まっているようですが、座という意味でいえば「座るべき場所」あるいは「座っている(座っていた)場所」ということになります。お釈迦様のことでいえば、悟りをひらかれた座所を金剛座(こんごうざ)といいます。

少し専門的になりますが、インドの高僧で天親菩薩という方が書かれた「浄土論」という書物に、仏の八種類の功德の第一番目に「莊嚴座功德成就(しょうごんざくどくじょうじゆ)、偈(げ)に無量大宝王(むりょうだいはうおう)微妙浄華台(びみょうじょうけだい)」「無量の大宝王は微妙の浄華台にまします(徳を積まれた仏の方々は、計り知れないほど見事な台(うてな)に座っておられます)と出てきます。

座というのは、今日でいうと「今度座をもうけます。」とか「場をもうけます。」と日常使いますから「身分」ということを表します。身分といっても狭い意味で「分」というか役割といえます。お坊さんで衣

を着けて床の間を背にして法事の席に座る、仏様の前に座ることも座ですし、ご飯を食べるときにお父さんが座る場所が決まっていることも、座ということになります。その座がその人をあらわすということですね。自分で決めるのではなくおのずと決まってくるということいいでしょう。

仏様の座に話をもどしますが、代表的な座は蓮華座(れんげざ)といって、如来や菩薩、明王の一部が蓮台に乗ることが出来るといわれています。

参考資料を引用して説明いたしますと、

「蓮華台(蓮肉 蓮弁)というのは、ハスの形した部分でハスの実をかたどり、その周りを魚の鱗のように互い違いに花びらが生えているものです。

次に、敷茄子(しきなす)とう蓮華台の下の鼓型の台のことを敷茄子といい、花と茎の付け根の部分を表したものです。敷茄子には上敷茄子と下敷茄子があります。

華盤(けばん)といい、上敷茄子の下にある丸い盤をいいます。華盤は花卉が水平にまで開ききった状態を表現したものです。

下敷茄子(したじきなす)といって、華盤の下にあるのが下敷茄子です。

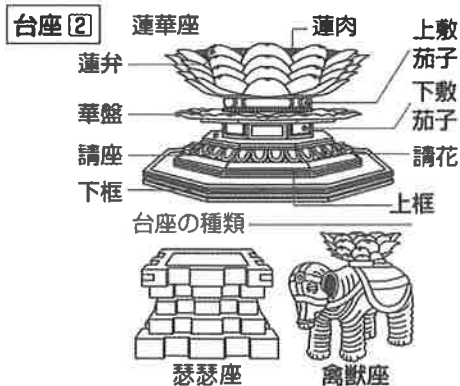
次に受座(請座 うけざ)といって、下敷茄子の下、反花(かえりばな)の上にあって下敷茄子を受ける台のことです。

反花(かえりばな 請花 うけばな)といって、外側を包んでいた花卉が次第に開いて反り返ると花卉の内部が見えるように作られ、これは最大の満開状態を表しているとされます。

櫃台(かまち)は、蓮華座の他、殆どの仏像の台座に使われます。

その他仏像の台座には、不動明王など明王の一部と天部の多くが岩座に乗ります。瑟瑟座(しつしつざ)は、不動明王に用いられ、洲浜座(すはまざ)は阿修羅に用いられています。荷葉座(かしょうざ)には、鬼子母神、吉祥天像などに使われ、須弥座(しゅみざ) 仏教世界の須弥山をかたどったもので弥勒菩薩のほか如来が乗ります。」

(参考引用文献 仏像の再発見 西村公朝著 吉川弘文館)



それぞれに名前があって時代と共に変化し、仏様が荘厳な形に表現し今に伝わってきました。

この形は何を表してきたのかというと、仏の行道をあらわし、仏の修行いわば人生経験をあらわしているのです。簡単にいうと、お釈迦様が生まれたと

きに七歩あるいて「天上天下唯我独尊」とおしゃったことは皆さんご承知の通りで、六道（六趣ともいいう地獄、餓鬼、畜生、修羅、人、天）を超えたということ、一步踏み破ったということであらわし座が設けられたということなのです。

このことは単なる個人的な経験というよりも、人間の経験としてただ長いか短いかというものでなく、人間の歴史が重なっている、積み重なっているということだと思います。

人間がしたことが人間のしてきたことだけに終わらせない、お酒を造るように自然に発酵してくるような、じっくりと考えるということをお教では憶念といいますが、その経験が生きた意味となってくることを教えているということをかたどっているのです。

仏の座としてお話をしてきましたが、仏様が蓮華の花の座につくということは、決して悟りをひらき立派な徳を持っているからその座についているのではなく、仏様としての使命を、責任をもって担う覚悟をもって、用意されたその座についているお姿もいえます。そしてそのお姿は、私たち一人ひとりが頂いている人生に生まれた意義と、生きる喜びを必ず見つけてほしいと願い続けて下さってきたお姿でもあると申し上げて、終わりとします。

## 例会報告

第34回例会  
平成29年3月24日(金)

12時30分 開会点鐘

- ・司会 駒木 進会長
- ・ソング 手に手つないで
- ・四つのテスト斉唱
- ・3月の歌 斉唱 (仰げば尊し)
- ・ゲスト 永井 隆様 (本誓寺 (紫波町) 住職)
- ・会長報告 駒木 進会長
- ・結婚祝 工藤博司君。
- ・幹事報告 海野 尚幹事

### 【ニコニコBOX】

◆ 高田浩二君…4月1日付で本店(東京)へ異動となってしまいました。平成26年12月から2年3ヶ月と短い間ですが大変お世話になり、ありがとうございました。ロータリーではたくさんの方々とお会いすることができ、そして私のような転勤族の人間にはわからない、盛岡の、岩手の歴史、文化等を教えていただき大変勉強になりましたし、楽しく過ごさせていただきました。4月からは東京勤務になります。単身赴任が解消されるのはいいことなのですが、岩手を離れるのは寂しい限りです。また家族をつれて岩手にも遊びに来たいと思います。後任は、土屋

というものが参ります。引き続きよろしくお願いいたします。皆様のご多幸を祈念し、ニコニコします。

◆ 西田直貴君…3年半お世話になりました。高松でもロータリー活動がんばります。近くに来られた時はぜひ声をかけて下さい。本当にお世話になりました。

◆ 岡本晃吉君…3/25付で埼玉東支社に移動になります。本当にお世話になり、ありがとうございました。盛岡RCの益々のご発展と会員の皆様方のご健勝を祈念してニコニコします。

### ●メークアップ

盛岡北R.C.=勝部・作田・大内君。クラブ委員会=伴・畠山・平野・星・工藤(幸)・長野君。

出席報告 □ 会員数 / 75 名 □ 出席数 / 41 名 □ 出席率 / 58.9% □ 前々回修正出席率 / 74.65%

### プログラムの お知らせ

- ・4月 7日(金) 会員卓話 長野隆行会員「米山奨学会について」
- 14日(金) ゲスト卓話 大松博典様 (高金寺 (紫波町) 住職)「最近の寺事情」
- 20日(休) 観桜家族会 (21日例会変更)
- 28日(金) ゲスト卓話 小堀 啓様 (岩手県県土整備部建築住宅課 住宅計画担当 主査)「引継ぎ、活かすための公民連携 (仮題)」

● 本号編集担当 / 橋本 孝史

● 次号編集担当 / 田口 信之